

令和6年度 学校評価自己評価表（中間評価）

三次市立作木中学校

ミッション	（１）主体的・対話的で深い学びを創造し、確かな学力を身に付けた生徒を育成する。 （２）作木中学校区の特性を生かした特色ある教育活動を推進することで、ふるさと作木を愛し、地域の将来を担う生徒を育成する。 （３）コミュニティ・スクールとして、学校・地域・家庭が協働し、生徒の成長を支える学校。	ビジョン	「自律」・「協働」・「挑戦」 ～ふるさと作木を愛し、新しい時代をたくましく生きる生徒の育成～	（１）確かな学力の定着と自律的に学ぶ態度を育てる。 （２）生徒指導の４つの視点を意識した指導・支援により自己指導能力を育てる。 （３）基本的な生活習慣の確率と基礎体力の向上を図る。 （４）小中一貫教育とコミュニティ・スクールを推進し、ふるさと作木を愛し、地域に貢献する生徒を育てる。 （５）生徒と向き合う時間につなぐ業務改善を推進する。
-------	--	------	---	--

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	自己評価			学校関係者評価		改善策
				評価データ	達成度	評価	評価	コメント	
知	確かな学力の定着と自律的に学ぶ意欲を育てる。	○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	◆生徒アンケートの肯定的評価８０％以上 ①課題について予想や見通しを立てている。 ②調べたことを図、グラフ、表などにまとめている。 ③自分の考えを積極的に伝えている。 ④根拠を明らかにして相手に伝えている。 ⑤授業では、友だちと話し合う等して、自分の考えを深めたり、広げたりしている。 ⑥振り返りは「どこまで分かったか」「もっと考えてみたいこと」などを考えている。	◆生徒アンケートの肯定的評価 ①84% ②64% ③60% ④64% ⑤76% ⑥68% 平均 69%	86%	4	A	○「③自分の考えを積極的に伝えている。」が60%なのはさみしい気がします。 ○「③」の課題は集団作りの充実が欠かせないので、集団作りに期待します。 ○「◆生徒アンケートの肯定的評価60%以上」の「③～⑥」までは上出来です。 ○先生方の日々の取組に対して敬意を表します。引き続き、生徒の基礎的学力の向上などに努めていただきたいと思います。 ○家庭学習の習慣が、小学校では高いが中学校では低下しています。家庭学習の開始時間も固定できていない状況もあるので、せっかく身についた習慣が継続できる工夫が必要と思います。 ○小規模校の特性を生かし、今後も工夫をしていってください。 ○家庭学習の大切さを保護者、生徒に伝える取り組みの継続をお願いします。	・これまでの取組を継続するとともに、各授業においてペアやグループ等での対話の場を設定し、さらに学びを深めていく。 ・自分の考えについて、ペアやグループの中で積極的に伝えることができるように、自分の考えを持たせる。
		○基礎的・基本的な学力の定着	◆三次市学力到達度検査（１・２年）については全国平均以上の生徒の割合、実力テスト（３年）については県平均以上の生徒の割合５０％以上	◆５教科×４人＝延べ２０教科で県平均と比べると延べ９教科が県平均以上であった。よって、県平均以上の割合は 45%	90%	4			・授業改善を行い、主体的で対話的な深い学びをめざす。 ・基礎的基本的な学力の定着に向けた取り組みも引き続き行う。
		○自己調整力の育成	◆生徒アンケートの肯定的評価６０％以上 ①学校の授業の予習をするようにしている。 ②学校の授業の復習をするようにしている。 ③定期試験等、自分で勉強の計画を立てている。 ④「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている。 ⑤将来、仕事や生活の中で役に立つと思うから勉強している。 ⑥分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している。	◆生徒アンケートの肯定的評価 ①48% ②56% ③76% ④72% ⑤80% ⑥72% 平均 67%	112%	5		・生徒アンケートから関連する６項目について、肯定的な評価をもとめその単純平均を算出した。全体的には目標を上回っている。各項目を見ると日々の家庭学習は目標に届かないが、その他の項目は目標値を上回っている。	・定期試験前の教育相談・学習相談を充実させる。 ・ICT等を利用した授業改善を行うとともに、家庭学習に意識が行くような授業展開も工夫する。
徳	生徒指導の４つの視点を意識した指導・支援により自己指導能力を育てる。	○生徒指導・教育相談の充実及び主体的な生徒会活動の推進	◆生徒アンケートの肯定的評価の割合８０％以上 ①学校生活は充実している。 ②授業に満足している。 ③自分にはよいところがある。 ④自分はまわりから認められている。 ⑤自分は、努力すればたいいのことはできる。 ⑥自分で考えて、その場に応じた発言や行動をしている。 ⑦困りごとがある時、先生や大人に相談できる。	◆生徒アンケートの肯定的評価 ①80% ②72% ③84% ④80% ⑤96% ⑥80% ⑦64% 平均 79%	99%	4	A	○「◆生徒アンケートの肯定的評価の割合80%以上」の「①～⑥」までは素晴らしい結果です。「⑦」については年齢を考えると難しい時期だと思います。 ○「②」の授業に満足しているが72%は何が原因なのか。改善できることはないのでしょうか。 ○「◆「道徳の時間」における生徒アンケートの肯定的評価の割合80%以上」の「③」が72%もあるのは感心します。 ○学校生活に充実感をもてるよう、様々な活動の継続をお願いします。 ○今回、昨年度に比べて評価が下がっています。その要因を探った上での対策が必要かと思います。	・学級活動や生徒会活動、学校行事等の活動を通して、肯定的評価を行い自己存在感を育てる。 ・困りごとがあったときの相談窓口を明確化し、生徒が相談しやすい体制をつくる。
		○道徳教育の推進・充実	◆「道徳の時間」における生徒アンケートの肯定的評価の割合８０％以上 ①道徳の授業は好きです。 ②道徳では、自分のことを振り返りながら考えている。 ③道徳の授業で勉強したことを、自分の生活に生かしている。	◆生徒アンケートの肯定的評価 ①64% ②68% ③72% 平均 68%	85%	4		・生徒アンケート結果では、肯定的な回答の数値が68%であり、目標を達成することができなかった。	・引き続き、生徒の実態に応じた道徳の授業を行う。否定的な回答をしている生徒に対して、ワークシート・発問・教材等の工夫を行い、道徳的価値についての思考が深まるようにする。
体	基本的な生活習慣を身に付け、健やかな体をもつたくましい生徒を育成する。	○基礎体力の向上	◆計画的指導により、新体力テストの県平均及び全国平均以上の項目の割合６５％以上	◆県平均及び全国平均値以上の割合 １学年：37.5% ２学年：31.3% ３学年：33.3% ◆新体力テストの県平均及び全国平均以上の項目は34.1%であった。	53%	2	A	○生徒が元気に過ごしているのなら良いと思います。 ○生徒の体力が、県平均及び全国平均に少しでも近づこう、継続的な取り組みをお願いします。 ○体力向上に向けては、地域でも環境を整えていく必要があると思います。 ○中学校に入学する前の保・小からの取り組みや家庭・地域の課題でもあると感じます。 ○学校で指導されてること、取り組むことにしっかり力を入れてくださっていると思います。	・自己の新体力テストの分析結果から、生徒一人一人が次の目標記録と体力を向上させるトレーニングを考え、取り組めるようにする。 ・保健体育科の授業において、各単元に関わる補助運動や体づくり運動を導入する。 ・全校で朝練習を実施し、持久力の向上を目指す。
		○基本的な生活習慣の確立	◆３点固定の出来ている生徒の割合７０％以上 ①家庭学習の開始時刻 ②就寝時刻 ③起床時刻	◆生徒アンケートの肯定的評価 ①64% 平均 72% ②64% ③88%	103%	5			・D-Life（生活・学習記録ノート）等で自己の生活をふり返り、生活習慣の改善につなげる。 ・教育・学習相談を通して、生活・学習習慣について指導・助言を行い、生徒の自己指導能力を育てる。
信頼される学校	小中一貫教育（さくぎ教育）を更に充実・発展させ、地域とともにある学校づくりを推進する。	○積極的な情報発信	◆保護者の学校評価アンケートの肯定的評価８５％以上 ①作木中学校の教育活動については、学校だよりや学級通信などでよく知ることができる。 ②作木中学校の教育に満足している。	◆保護者の学校評価アンケート「作木中学校の教育に満足している」の結果 ①90.5% ②81% 平均 85.8%	101%	5	A	○「◆保護者の学校評価アンケートの肯定的評価85%以上」の「①②」ともに良いです。学校の努力が報われています。 ○「◆生徒アンケートの肯定的評価の割合90%以上」の「②」については、64%もあったことに感心します。 ○「◆職員アンケートの肯定的評価の割合80%以上」の「①」がもう少しほしい気がします。先生方が過重労働にならないようにお願いします。 ○先生方が長時間労働とならない取り組みと、自らの健康管理に努めていただきたいと思います。 ○ふるさと学習で学んだことを、地域で生かせる体験が少ないのではないのでしょうか。地域の協力が必要と思います。 ○ふるさと学習がさらに充実するよう引き続きともに考えていきたいと思います。 ○地域と共に活動する中で、学習を充実させてください。 ○情報発信については、業務改善の課題を踏まえ、過度にならないように工夫してください。 ○ご多忙の中、子どもたちのために力を尽くしてくださる先生方に感謝します。	・満足感が低下している要因としては、行事面での満足度は高いが、授業・部活動・集団づくり等に要因があると思われる。少人数の良さを生かしながら、授業改善、集団づくりを、より丁寧に進めていく。また、生徒の頑張りを積極的に保護者へ伝えていく。
		○作木ふるさと学習の推進・充実	◆生徒アンケートの肯定的評価の割合９０％以上 ①自分の住んでいる地域のことが好きです。 ②現在または将来、地域に貢献していきたいという思いを持っている。	◆生徒アンケートの肯定的評価 ①84% ②64% 平均 74%	82%	4		・目標の達成度は82%であり、目標を下回った。 ・質問①については、昨年度から8ポイント低下している。また、本年度から、新しい質問②を設けたが、肯定的な回答が64%もあり、地域へ貢献する意識が薄い傾向がある。	・地域は好きだが、地域貢献までは思いが届いていない面がある。作木ふるさと学習の学習内容を再検討し、より地域を巻き込んだ活動を仕組んでいく必要がある。また、生徒会委員会活動、部活動等、地域の方と一緒に活動する場をつくっていきたい。
		○業務改善の推進	◆職員アンケートの肯定的評価の割合８０％以上 ①子供と向き合う時間が確保されている。 ②業務改善を進めることができている。	◆職員アンケートの肯定的評価 ①73% ②64% 平均 69%	86%	4			・生徒と向き合う時間の確保は、意図的な面談等を仕組んでいることが結果として現れた。 ・業務改善については、時間外在校時間は年々減少傾向にあり、職員の意識も少しずつ変化している。業務内容の精選、役割の明確化を進めていく。

学校自己評価	5	１００％以上	目標を十分達成している
	4	８０％～１００％未満	目標を概ね達成している
	3	６０％～８０％未満	目標をやや下回っている
	2	４０％～６０％未満	目標を下回っている
	1	４０％未満	目標を大幅に下回っている

学校関係者評価	A	自己評価は適正
	B	自己評価は適正でない
	C	判断できない